

ネイチャーセンターだより



5月のみどころ

【上旬】

春国岱周辺などの干潟に、採餌や休憩のためホウロクシギなどシギやチドリの仲間が渡ってきます。ミヤコドリの数が最も増えるのもこの時期です。森や草原には、ウグイスやコムクドリ、ノビタキ、ベニマシコ、オオジシギなど夏鳥たちが姿を現します。

また、森や湿原では、ミズバショウ、エゾエンゴサク、ヒメイチガ、コミヤマカタバミなど春の花が次々と咲いていきます。



ミズバショウ

【下旬】

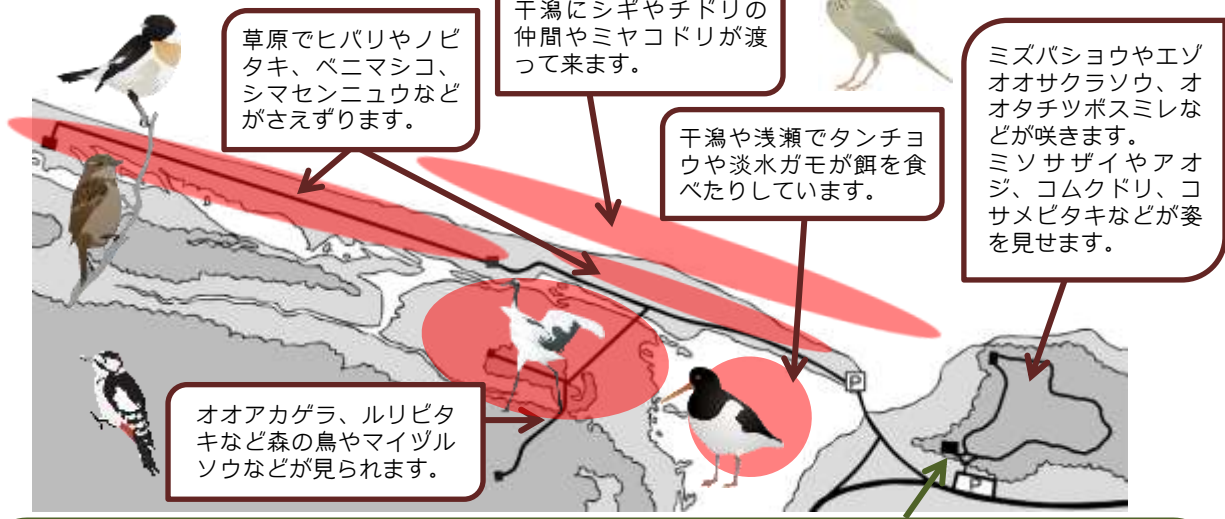
木々の葉がまだ小さいこの時期は、森の小鳥が観察しやすい季節です。森ではコマドリやルリビタキ、アオジなどが元気にさえずり、なわばりを主張します。草原にも、ノゴマやシマセンニュウなど次々と夏鳥が渡って来ます。

花の種類も増え、ピンク色のエゾオオサクラソウ、紫色のオオタチツボスミレ、白色のオオバナノエンレイソウなどが花を咲かせます。



ノゴマ

おすすめスポット



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(無料)

春国岱のガイドマップの配布や双眼鏡の無料貸し出し、スライドの上映などを行っています。また、レンジャーが生き物に関する質問などに随時お答えしています。気軽にお声かけください。

トピックス

カモの子育て

5月になると北方にある繁殖地へと多くのカモたちが飛び立ち、その姿が減っていきます。風蓮湖・春国岱は、多くのカモにとって渡りの中継地として重要な場所ですが、一部のカモにとっては大切な繁殖地の1つでもあります。これまでに風蓮湖周辺では、マガモ、カルガモ、シマアジ、カワアイサの子育てが確認されています。



カワアイサ (右:メス、左:オス)

風蓮湖周辺に残ったカモたちがどんなところで子育てをするかという、地面に草や羽を敷いて巣を作る種類と、森の中で木の洞や地中の穴を利用して巣を作る種類があるそうです。いずれも水辺近くに巣を構え、ヒナが孵るとじきに水辺に出てきます。ヒナたちは親ガモの後をついていきながら、自分たちでエサを探して食べます。小さなカモのヒナたちが賑やかそうに親ガモの後をついて泳いでいる様子は、とても微笑ましいものです。

カモの仲間は子沢山で、だいたい10個ほど卵を産みます。このたくさんのヒナたちの面倒を、卵を温める時も、ヒナを育てる時も、メスだけで見ます。子育ての期間中、オスたちは、オスだけで群れを作ったりしながらのんびりと過ごしています。ヒナは孵ってから1~2カ月半ほどで飛べるようになります。その間、母ガモたちの奮闘は続きます。

これから迎える夏の間、川や湖を眺めると、ひょっとしたらこんな子育て中のカモに出会えるかもしれません。もし出会えたら、遠くからそっと見守ってあげてください。

春国岱クイズ

春に子育てのために根室に渡ってくるベニマシコ。ベニマシコのオスは冬の間、薄茶色っぽくすんだ紅色をしていますが、春にキレイな紅色(赤っぽい色)になります。どうやって羽の色が変わるのでしょうか。

※ヒント：換羽は子育ての後になります。

(A、Bの中から答えを選んでください。)



A. 羽の先がすり切れて中からキレイな色が出てくる

B. 羽が抜けて新しくキレイな色の羽がはえる(換羽)

答えは次号に掲載します。(先月号の答え…A)

いきもの図鑑



英名 Middendorff's Grasshopper Warbler
学名 *Locustella ochotensis*

シマセンニュウ科

(センニュウ科)

昨年までウグイス科に分類されていたスズメより少し大きな鳥。夏鳥として根室に渡来し、草原や湿原で子育てをする。比較的分布域が狭い種類で、国内では北海道でだけ繁殖する。繁殖地に到着したオスは「チユルルル〜チカチカチカ」と鳴きながら飛ぶことでなわばりを宣言しつつ、後から来るメスを待つ。

レポート

春国岱の森

2006年に根室に到来した爆弾低気圧の影響で、春国岱の第二、第三砂丘の森が大きなダメージを受けました。センターでは、その後の森の変化を把握するため、定期的に定点撮影を行っています。

第二砂丘の森は、爆弾低気圧の影響だけではないのですが倒木と立ち枯れが進み、生きた木は僅かに残るだけとなっています（右写真上）。森だった部分は、今は秋にハンゴンソウが咲く草原が広がっています。

第三砂丘の森では、木が倒れ、樹冠があいて日あたりがよくなった場所で若木が育ってきています。成長が遅いので大きな変化は見られないのですが、写真を見比べると元気に成長していることがわかります。

地盤沈下が進み、植生が退行遷移（森から草原に戻る植物の変化）をしている春国岱は、徐々にその姿を変えています。



第二砂丘(上)と第三砂丘(下)の森

NEWS

風蓮湖・春国岱の四季を紹介するDVDの上映を行っています

春国岱ネイチャーセンターでは、風蓮湖・春国岱の四季折々の風景や生き物を音楽とともにご紹介する映像の上映を行っています。

個人・団体、観光・お散歩・自然学習などなど、どなたでも、いつでもご利用いただけます（休館日等で対応できないことがあります。先着順になりますので、団体の方は事前にご連絡ください）。



視聴覚研修室にて映像鑑賞

自然学習・出前講座に対応しています

春国岱ネイチャーセンターでは、根室市内の学校や団体の方が、ラムサール条約湿地風蓮湖・春国岱や根室地域の自然や生き物、環境問題などについて学ぶ際のサポートを行っています。当施設に来ていただいて野鳥や自然などについて野外活動や室内学習で学ぶ自然学習や、レンジャーが地域に出向いて室内学習や講演、地域の自然観察などに対応する出前講座などを行っています。ぜひ、ご活用ください（事前申込が重要です）。


根室市外の団体の方で出前講座をご希望の際は別途ご相談ください。来館されての自然学習につきましては、根室市外の団体の方もご利用いただけます（事前申込が重要です）。



海辺の生き物観察

行事などのお知らせ

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは…
春国岱ネイチャーセンターへ、電話（0153-25-3047）もしくは直接お願いいたします。

開催日	内 容	参加費	申込方法など
5 / 25 6:00~8:30	春国岱バードウォッチング 春国岱の観察路を歩きながら、子育てシーズンの野鳥の様子を観察します。 	100円	定員 20名（先着） 5/20までにお申込みください ※小学生以上、小学生は保護者同伴 ※集合：春国岱ネイチャーセンター ※持ち物：野外で活動できる暖かい服装、あれば双眼鏡
4 / 31~5 / 31 9:00~17:00	クラフトコーナー 貝殻や木の枝、木の実などを使って工作をすることができます。見本を見たり、自分で考えたりしながら、自然の物を使って生き物などを作ってみませんか？	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでもご参加いただけます。

※重要なお知らせ

春国岱橋の補修工事のため、春国岱が利用できなくなります。

■期間：平成 25 年 7 月 16 日～8 月 31 日

大変ご迷惑をおかけいたします。皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、春国岱ネイチャーセンターと自然学習林は工事期間中も通常通りご利用いただけます。



ボランティア マナーを守って…

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループスックと個人参加のフィールドボランティアが活動をしています。レンジャーと一緒に自然を調べたり、観察会を開催したり、自主イベントを企画・実施したりなど様々な活動を行っています。いつからでも、経験がなくてもはじめられます。気軽にお問合せください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆会費・保険料（年間）：
フィールドボランティア 300円
ボランティアグループスック 1500円

美しい自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆5月の休館日：7~10, 14~16, 22, 29日

◆5月の開館時間：9:00~17:00

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。（要 事前申込）